

町民大学

町民大学とは？

町民大学は、下諏訪町の歴史・文化、自然について講師の先生から学び、地域への理解を深め、郷土愛を育てていくための、誰もが無料で参加可能な講座です。少しでも気になった方は、ぜひ下諏訪町公民館までお問い合わせください！

- ◇対象者： 下諏訪町に興味のある方（どなたでも！）
- ◇定員： 50人程度
- ◇時間： 午後1時30分から3時まで
- ◇場所： 下諏訪総合文化センター 2階 集会室
- ◇受講料： 無料



No.	講座名・日時	講師(敬称略)
第1回	「諏訪のオルゴール物語 ～音色に込めた80年の歩み～」 6月14日(日)13:30～15:00	ニデックオルゴール記念館 すわのね
第2回	「生きものから考える 諏訪湖の環境と未来」 7月12日(日)13:30～15:00	長野県諏訪湖環境研究センター 調査研究部 部長 北野 聡
第3回	「等身大のミシャグジ」 8月30日(日)13:30～15:00	信仰研究者 ・スワニズム事務局長 石埜 三千穂
第4回	「宇宙線観測データにみる宇宙天気 ～南極昭和基地での宇宙線研究最前線～」 10月11日(日)13:30～15:00	信州大学大学院博士課程、 第66次南極地域観測隊・夏隊 (2024.12-2025.02) 林 優 希
第5回	「下諏訪町は下駄スケート発祥の地 !!」 12月13日(日)13:30～15:00	下諏訪町立諏訪湖博物館・ 赤彦記念館・専門研究員 小 口 徹

☆お問い合わせ： [下諏訪町公民館 TEL. 28-0002](tel:28-0002)

6月14日(日)「諏訪のオルゴール物語 ～音色に込めた80年の歩み～」

昭和21年、数人の挑戦から世界シェアを誇るまでに成長したサンキョーのオルゴール産業。創業者の回想録や昭和の新聞記事など、現ニデックインスツルメンツ(株)に保管された一次資料を公開し解説します。

世界を魅了した音色の裏にある職人の苦勞と、地域と共に歩んだ80年の軌跡を、当時の記憶と共に振り返ります。

7月12日(日)「生きものから考える諏訪湖の環境と未来」

諏訪湖に生きる魚類、貝類、両生類、カメ、鳥、水草を手がかりに、湖の環境がどのように変化してきたのかを読み解きます。身近な生きものから、私たちの暮らしと諏訪湖の未来、環境保全の大切さを一緒に考えます。

8月30日(日)「等身大のミシャグジ」

さまざまな角度から諏訪と諏訪信仰に注目が集まっている昨今、「ミシャグジ」に興味を持つ方も相応に増えています。今回のテーマはそうした要望に応えるものですが、逆に、ミシャグジに対して空想を逞しくしているみなさんに対しては、冷水をかけるものになるかもしれません。

「ミシャグジについて、どのように考えるべきなのか」。地に足をつけてミシャグジを考察するための姿勢、材料、アプローチ等を具体的に考えてみます。

10月11日(日)「宇宙線観測データにみる宇宙天気

～南極昭和基地での宇宙線研究最前線～

私たちは、宇宙線の観測を行い、太陽の活動と宇宙の環境変化を研究しています。宇宙天気と呼ばれるこの研究分野は、近年ますます重要になってきています。宇宙線観測データに見る宇宙天気現象、そして宇宙天気予報への応用を、南極昭和基地での最新の研究結果と昭和基地での活動内容を交えながら紹介します。

12月13日(日)「下諏訪町は 下駄スケート発祥の地 !!」

下駄スケートは、下諏訪町横町木の下の飾り職人・河西準之助氏の工房で、明治39年1月に誕生し高浜湾での試し滑りを経て完成しました。

発祥の地がなぜ下諏訪町なのか、なぜ明治39年なのか、なぜ下駄に刃を取り付けたスケートなのか、そして、試し滑りが行われた場所がなぜ高浜湾だったのか、等々の謎に迫っていきたいと思います。